

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ライオン	公表日				2025年 3月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		学習、遊び、座っての活動、落ち着く場等を踏まえて適切なスペースであると思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準より多く配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		遊ぶ場所を明確に分けて、安全に遊べるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		始業前、始業後、活動の区切りで片づけを行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		静かな時間、落ち着く時間を作れるように個別室を使っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		活動前には、1日の流れ、職員の動きを確認し、活動後に今日の振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの要望は職員で共有して、どのように改善、実現できるか話し合っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の会話、振り返り時にさらにこうしたらよいなど話し合い、すぐに改善できるように心掛けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価は受けていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修を設け、学べる時間を設けています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々のやり取りや、面談等で必要な関り、支援を保護者と話し合っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成の前の、クラス会議等で子どもの現状と課題を話し合っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		クラス会議や、ケースカンファレンスを通して子どもの特性、現状、必要な支援について共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		共通のアセスメントツールを使用し、毎日の記録を作成しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		必要な項目はすべて設定されています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		1か月の活動内容を決め、前日に子どもの様子に合わせて意見を出し合い決めています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		公園の場所、室内活動の内容等、子どもの発達に合ったものを考えています。その日のターゲットを決めて偏りがないように心掛けています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動をベースに、子どもの状況に合わせて個別の活動を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日利用する子と、職員の配置をボードで確認し、職員も見通しを持てるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援が終わった後に、職員それぞれ感じた事、次の日の改善点を話し合っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の子どもの様子、職員の関わり方、子どもの変化等を記録にしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度、振り返り見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		職員間で確認し合って、活動に取り入れ支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		全員で同じ活動を行う日もありますが、室内活動、戸外活動を選択できる機会を設けています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		事業所の職員、利用しているサービスに関する職員が集まって会議を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		児童相談所、保健センター、家庭児童相談所、学校等と必要に応じて会議を行い、それぞれの役割や支援の方向性を話し合っていました。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校行事の練習の付き添いや、当日の付き添いや、宿題のことなど学校側と連携していました。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		子ども、家族の状態等、必要な支援について情報共有を行ってきました。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		対象児童はいませんでした。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		法人内のセンターが主催する、センター研修に参加し、学び、他事業所との交流を行ってきました。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		交流する機会は計画的にありませんが、地域の子どもの帰宅時、母がいない時に事業所で母が帰ってくるまで一緒に過ごしたことがありました。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人として、子ども部会などに参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々のやり取りの中で、こどもの状況、家族の状態を把握していています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		月1度のペアレントトレーニング、グループカウンセリングの案内をし、参加の促しをしていきました。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に、児童発達管理責任者から説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画に、子どもと親の願い、要望を聞き取り取り入れています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援管理責任者から説明を行い、保護者に同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々困っていること等聞いて、関わり方や、事業所で出来ること等保護者とやり取りを行っていました。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		季節に合わせた行事を設定し、親子、家族で参加できる機会を設けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		もっとこうして欲しいという意見は子ども達からも聞いていき、出来る事は実現できるようにしていきました。保護者の方からは、活動の様子を写真で見たいとのことですので写真付きでぐぶりで報告していきました。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやぐぶりを利用して事業所の活動や、行事の報告を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		HPに写真を掲載する際は、保護者に許可を得ています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		日々、子どもの様子を電話やメール、送迎時に伝え、情報を共有しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		運動会等では地域のグラウンドをかりて行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを事業所に提示しています。研修や朝の打ち合わせの後にロールプレイで練習に取り組んでいます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的な避難訓練や、地域の小学校への大避難訓練も行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に投与する薬がある場合や、普段と体調が異なる場合は保護者と連絡を取り合っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		別食対応の練習も日々行っています。給食、おやつも毎日別食がないか給食室とれんげいしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		日々、ヒヤリハットなどを報告し、必要な配慮や安全面を見直せる機会がありました。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		個別支援計画で説明しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		怪我、クリニック受診などヒヤリハットで報告し、再発しないように職員で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		イライラしたら助けを求め、離れるなど練習しています。また、落ち着きプランを作り職員同士で把握しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		頻繁な他害、自傷があった時には静止することを計画に記載し説明しています。		